道の駅たるみずはまびら開駅

第3の拠点に期待

完成を祝ってテープカットを行う関係者＝垂水市の現地

垂水市浜平地区に整備が進められてきた「道の駅たるみずはまびら・たるたるぱあく」の開駅記念式典が23日、行われた。行政、工事関係者ら約100人が出席し、新しい地域の拠点施設完成を盛大に祝った。同市では、北の拠点・道の駅たるみず、中央の拠点・森の駅たるみずに続く第3の拠点となる。

同施設は、6次産業化推進と観光振興の新拠点として整備。南北に長い同市の南側で、大隅の玄関口である垂水港などに近い浜平地区の国道220号沿いに完成した。敷地面積は約2万5000㎡。レストラン・展望施設の建物規模はS造2階建1461㎡で、総事業費は約12億円。

式典では、尾脇雅弥垂水市長が、これまでの関係者の支援に感謝を示した上で、「多くの人に利用され、本市をはじめ、大隅全体、本県全体の活性化につながることを祈念したい」と挨拶。来賓を代表して森山裕衆議、国土交通省九州地方整備局の前佛和秀道路部長がそれぞれの立場から祝辞を寄せた。

続いて、テープカットが行われ、市の新たな観光施設の新しい門出に花を添えた。また、施設全体の愛称を考案した垂水中央中学校2年の山下蓮さんと長峰綾香さんへ記念品が贈られた。

同施設の1階には、大隅半島のさまざまな農産物を販売するマルシェや、海産物をメーンにしたレストランなどを配置。また、2階には、錦江湾を180度眺望できるカフェのほか、子供広場なども設けた。レストラン・物産館棟は、同市として初めてとなるPFI手法で事業が進められた。

工事関係企業等は次の通り。

鹿児島総合企業体グループ（南日本総合サービス 東条設計 豊明建設 秀建設 リニューアブル・ジャパン 垂水未来創造商社）綜合技術コンサルタント 大福コンサルタント 北川ヒューテック 川畑建設 エコロン 末重建設 宇都電設 池田建設 建設技術コンサルタンツ 宮迫建設 田中工業 小園工務店 鎌田工業 銀河 三和設備工業 竹之内組 内田工業 サンエイエコホーム 古田水道建設 美坂工業 鹿児島機動 福電 アップル技研

加世田電気工事協組パト

安全最優先で作業を

加世田電気工事工業協同組合（中釜秀一理事長）は22日、南さつま市の加世田高校大規模改修・特別教室棟34・36・37・38番棟などの現場で安全パトロールを行った。役員ら10人が参加し、さらなる安全意識の高揚を図った。

現場事務所では、電気設備工区の中釜電設と下山電設担当者から第三者災害を防止するため、建築工区等との全体朝礼や統合連絡会などを通じて車両の出入り、作業内容など業者間の連絡を密にしているとの報告があった。続いて、天井部の照明施工状況や、転落・墜落対策などチェックシートに基づき入念に点検。その場で反省会を行い、おおむね良好との診断結果を確認し、年度末までの無事故無災害を目指していくことを申し合わせた。

安全管理状況を点検する役員ら＝南さつま市の現地

中釜理事長（中釜電設）は「安全なくして繁栄なし。作業する一人ひとりがヘルメット着用から服装をきちんと整え、安全最優先で取り組んでほしい」と呼び掛けた。

忘年会で労ねぎらう

同日は、旬房みやわきで忘年会も開催。九州電力加世田営業所・加世田配電事業所、九州電気保安協会南九州事業所、電材協力店からも多数出席して今年1年の労をねぎらった＝**写真**＝。

中釜理事長は「今年は青年部主催のふれあいでんきフェスタをはじめ、安全講習会やボランティアなど有意義な活動ができた。自然災害が多発しており、有事には協定に基づき、市民のため電気のいち早い復旧に尽力していきたい」と挨拶。

出席者は、互いの健闘をたたえながら和やかに親睦を深めた。

地元企業見学ツアー

充実設備へ興味

新大隅青年会議所

新大隅青年会議所（山田陽一理事長）主催の地元企業見学ツアーが21日、大崎町の大隅陸上トレーニング拠点施設であった＝**写真**＝。参加した尚志館高校の生徒や教諭らは、多くの地元企業が携わった建設現場を見学し、充実した施設の内容などに興味を示した。

見学会は、「よしもと住みます芸人と行く！地元企業見学バスツアー」と題し、地元企業を知る機会を提供しようと開催されたもの。同日は、建設工業系1年の生徒ら約20人が参加した。

現場では、県PR・観光戦略部観光課の中俣昌二技術専門員と久徳建設の吉留祐介専務の案内で視察。工事概要や工法、工事の進め方などの説明を受けながら各エリアを回った。生徒らは、初めて見る内部の状況を熱心に見入っていた。

また同日は、佐藤建具ふすま店やマトヤ技研工業など、企業の見学も行った。

カイコー匠館祭

家族連れでにぎわう

カイコー（宝地雅浩社長、鹿屋市）はこのほど、同市新川町の同社住宅資材総合展示場で「2018 匠館祭」を実施した＝**写真**＝。住宅設備の展示販売や各種イベント、リフォームの相談コーナーなどもあり、終日多くの家族連れでにぎわった。住設メーカーなど18社が参加協力した。

同社では毎年春と秋にイベントを開催。同日は、住設メーカーの大展示会のほか、IH・ガスコンロの実演、電気の相談コーナーなどさまざまなブースが設けられた。相談コーナーでは、リフォームについて熱心に質問する家族の姿も見られた。

地域貢献活動

①会社名、団体名 ②日時 ③場所 ④参加人数 ⑤活動内容 ⑥コメント ⑦参加業者

総合技術コンサル大島出張所長連絡協

①総合技術コンサルタント大島出張所長連絡協議会（田中晃晶会長）

②11月17日午前10時～11時
③奄美市住用町のマングローブパーク内
④33人
⑤外来植物のセイタカアワダチソウやシロノセンダングサの駆除作業を行った
⑥田中会長「世界自然遺産登録推進の一助になればと実施した。公共事業に携わる者としてできることは今後も続け、地域住民の意識啓発にも努めたい」

県建築協会奄美支部

①県建築協会奄美支部（松元利道支部長）
②11月24日午前8時～11時
③奄美市名瀬の真名津・平田・田雲団地
④会員23人のほか九電工、奄美市職員
⑤「建築の日」にあわせ、団地周辺の枝払いや雑草伐採を実施。会員らは高所作業車を使って伐採した太い枝木をクレーン車で移動しチェーンソーで細かくしたあと、次々とトラックに積み込む作業に精を出した

垂水市建設業組合青年部

①垂水市建設業組合青年部（神﨑直樹部長）
②11月24日午前8時～
③垂水市の垂水中央公園周辺
④部員13人

⑤公園周辺（マイロード）でごみ拾いなど
⑦上津建設 宮迫建設 迫田電設 森組 鎌田工業 池田建設 いらか 川越建設 川畑鉄工建設 神崎組 新和建設工業 神﨑土木 三和設備工業

情報はこちらへ

本紙では、企業や団体等の地域貢献活動を掲載しています。作業風景の写真や作業内容等を記入し、報道部まで情報をお寄せください。新聞掲載は無料です。
E-mail:hensyu@kc-news.co.jp